

1. 我が国の平成21年の国民医療費の国民所得に対する割合で正しいのはどれか。
1. 約5%
 2. 約10%
 3. 約20%
 4. 約30%
- 医療概論
2. ヒトを対象とした医学研究の倫理についての国際的規範はどれか。
1. ジュネーブ宣言
 2. ヒポクラテスの誓い
 3. ヘルシンキ宣言
 4. 患者の権利宣言
- 医療概論
3. 人名と事項との組合せで正しいのはどれか。
1. パスツール——ペスト菌
 2. ジェンナー——結核菌
 3. コッホ——種痘法
 4. フレミング——ペニシリン
- 衛生学
4. スクリーニング検査に含まれないのはどれか。
1. 基本健康診査
 2. がん検診
 3. 人間ドック
 4. 精密検査
- 衛生学
5. 後天性免疫不全症候群について正しい記述はどれか。
1. 我が国では発生が減少傾向にある。
 2. 発病前でも他人にうつす危険性がある。
 3. 細菌感染症である。
 4. 公衆浴場は感染の危険性がある。
- 衛生学
6. 芽胞に効果がないのはどれか。
1. 火炎滅菌法
 2. 乾熱滅菌法
 3. 煮沸消毒法
 4. 高圧蒸気滅菌法
- 衛生学
7. 我が国で肥満と判定されるBMIの基準値はどれか。
1. 20以上
 2. 22以上
 3. 25以上
 4. 30以上
- 衛生学
8. 2000年に策定された食生活指針で控えめにすることを推奨しているのはどれか。
1. 魚類
 2. 穀類
 3. 食塩
 4. 乳製品
- 衛生学
9. 業務上の疾病について正しい記述はどれか。
1. 珪肺は運輸業務従事者に多い。
 2. アスベストは悪性中皮腫の原因となる。
 3. レイノー現象は夏に増悪する。
 4. 潜水病はもぐる時に発症する。
- 衛生学

10. 我が国の平成21年の精神障害者の在院患者数のうち、措置患者数の占める割合で正しいのはどれか。

1. 1%未満
2. 約5%
3. 約10%
4. 約20%

衛生学

11. 児童虐待の防止等に関する法律でいう「児童」はどれか。

1. 12歳未満の者
2. 15歳未満の者
3. 18歳未満の者
4. 20歳未満の者

衛生学

12. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律における施術者に関する罰則で親告罪はどれか。

1. 秘密保持義務違反
2. 骨折患部への施術禁止違反
3. 業務停止命令違反
4. 都道府県知事の施術者に対する指示違反

関係法規

13. 医療法における診療所の病床数で正しいのはどれか。

1. 19床以下
2. 29床以下
3. 39床以下
4. 49床以下

関係法規

14. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律で、あん摩マッサージ指圧を業としてできるのはどれか。

1. 看護師
2. 介護福祉士
3. 作業療法士
4. 医師

関係法規

15. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律で免許の欠格事由はどれか。

1. 1類感染症に罹患している者
2. 20歳未満の者
3. 罰金以上の刑に処せられた者
4. 外国国籍の者

関係法規

16. 細胞間の情報交換に関与するのはどれか。

1. 接着帯
2. タイト結合(密着帯)
3. デスモソーム(接着斑)
4. ギャップ結合(細隙結合)

解剖学

17. 上皮組織を構成する細胞はどれか。

1. 線維芽細胞
2. 脂肪細胞
3. 神経細胞
4. 腺細胞

解剖学

18. 鼠径靭帯が付着するのはどれか。

1. 坐骨棘
2. 坐骨結節
3. 下前腸骨棘
4. 上前腸骨棘

解剖学

19. 手根骨と足根骨の両方にみられる骨の名称はどれか。

1. 立方骨
2. 舟状骨
3. 三角骨
4. 月状骨

解剖学

20. 小転子に停止するのはどれか。

1. 梨状筋
2. 腸腰筋
3. 大殿筋
4. 大腿方形筋

解剖学

21. 足関節にある靭帯はどれか。

1. 黄色靭帯
2. 三角靭帯
3. 十字靭帯
4. 棘間靭帯

解剖学

22. 脊柱起立筋に含まれるのはどれか。

1. 板状筋
2. 多裂筋
3. 頭半棘筋
4. 棘筋

解剖学

23. 手の第2指の指背腱膜に停止するのはどれか。

1. 第1背側骨間筋
2. 第2背側骨間筋
3. 第2掌側骨間筋
4. 第2虫様筋

解剖学

24. 下肢の上伸筋支帯の下を腱が通るのはどれか。

1. 長腓骨筋
2. 短腓骨筋
3. 第三腓骨筋
4. 長指屈筋

解剖学

25. 消化管でパイエル板がみられるのはどれか。

1. 食道
2. 回腸
3. 盲腸
4. 直腸

解剖学

26. プロゲステロンを分泌するのはどれか。

1. 赤体
2. 白体
3. 黄体
4. 下垂体

解剖学



27. 頭頸部の動脈で大後頭孔を通るのはどれか。

1. 顎動脈
2. 後頭動脈
3. 椎骨動脈
4. 内頸動脈

解剖学

28. 下行大動脈の前を通るのはどれか。

1. 左腎静脈
2. 左精巣静脈
3. 下腸間膜静脈
4. 左上行腰静脈

解剖学

29. 中枢神経と受容器・効果器との間で、2個のニューロンから構成されるのはどれか。

1. 体性運動
2. 体性感覚
3. 内臓運動
4. 内臓感覚

解剖学

30. 内包に分布する動脈はどれか。

1. 中大脳動脈
2. 中硬膜動脈
3. 脳底動脈
4. 後下小脳動脈

解剖学

31. 舌の前2/3の味覚をつかさどるのはどれか。

1. 三叉神経
2. 顔面神経
3. 舌咽神経
4. 迷走神経

解剖学

32. 副交感神経の神経節で舌下腺への経路になっているのはどれか。

1. 顎下神経節
2. 耳神経節
3. 毛様体神経節
4. 翼口蓋神経節

解剖学

33. 視覚器について正しい記述はどれか。

1. 角膜の知覚は眼神経が伝える。
2. 散瞳には動眼神経が関与する。
3. 下斜筋は滑車神経に支配される。
4. 上眼瞼挙筋は顔面神経に支配される。

解剖学

34. 細胞膜について誤っているのはどれか。

1. 選択的イオン透過性がある。
2. 不要な物質を排泄する。
3. 電氣的に興奮する。
4. 一層構造である。

生理学

35. 健常成人の体液について正しい記述はどれか。

1. 体液は体重の約40%を占める。
2. 血漿は細胞外液に区分される。
3. pHは7.0である。
4. 細胞内液にはナトリウムイオンが多い。

生理学



36. 心臓の刺激伝導系で房室結節の次に興奮が伝わるのはどれか。

1. ヒス束
2. 洞房結節
3. 右脚・左脚
4. プルキンエ線維

生理学

37. 第1心音を発生する心周期の時期はどれか。

1. 等容性収縮期
2. 駆出期
3. 等容性弛緩期
4. 充満期

生理学

38. 健常成人における安静時の呼吸について正しい記述はどれか。

1. 腹筋の収縮が起こる。
2. 呼息時には胸腔内圧が陽圧になる。
3. 吸息時には腹腔内圧が陰圧になる。
4. 呼息と吸息で約500mlの空気が入り出す。

生理学

39. 胃の主細胞から分泌されるのはどれか。

1. 塩酸
2. 内因子
3. ガストリン
4. ペプシノゲン

生理学

40. 水溶性ビタミンはどれか。

1. ビタミンA
2. ビタミンC
3. ビタミンD
4. ビタミンE

生理学

41. 発熱について正しい記述はどれか。

1. インターロイキンが原因となる。
2. 体温調節機構は大脳皮質にある。
3. 38℃で蛋白質の変性が始まる。
4. セットポイントは平熱時より低い。

生理学

42. 血流量の自己調節機構がみられるのはどれか。

1. 肝臓
2. 骨格筋
3. 腎臓
4. 皮膚

生理学

43. 血液中のカルシウム濃度を増加させるホルモンはどれか。

1. アルドステロン
2. カルシトニン
3. パソプレシン
4. パラソルモン

生理学

44. 脳波とそれが現れやすい時期との組合せで正しいのはどれか。

1. α 波——睡眠時
2. β 波——精神活動時
3. δ 波——感覚刺激時
4. θ 波——安静閉眼時

生理学

45. 交感神経の単独支配を受けているのはどれか。

1. 気道
2. 汗腺
3. 脾臓
4. 胃

生理学

46. 屈曲反射について正しい記述はどれか。

1. 受容器は筋紡錘である。
2. 刺激側の対側の屈筋が収縮する。
3. 脊髄反射である。
4. I群線維が関与する。

生理学

47. 平衡感覚の受容細胞はどれか。

1. 水平細胞
2. 自由神経終末
3. 有毛細胞
4. パチ二小体

生理学

48. 網膜の黄斑について正しい記述はどれか。

1. 杯体細胞が密集している。
2. 明るい場所での分解能が良い。
3. 暗い場所での感度が高い。
4. 血管が豊富にある。

生理学

49. ヒスタミンを産生する細胞はどれか。

1. 好中球
2. 単球
3. リンパ球
4. 肥満細胞

生理学

50. 疾病の分類と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 全身性疾患——アミロイドーシス
2. 後天性疾患——奇形
3. 器質的疾患——神経症
4. 老人性疾患——ポリオ

病理学

51. 疾病の経過において発症するまでの時期はどれか。

1. 前駆期
2. 潜伏期
3. 侵襲期
4. 極期

病理学

52. 放射線障害を最も受けやすいのはどれか。

1. 筋肉
2. 神経
3. 骨髄
4. 肝臓

病理学

53. 疾患と沈着物との組合せで適切なのはどれか。

1. アルツハイマー病——アミロイド
2. 痛風——脂肪
3. 黄疸——リポフスチン
4. 動脈硬化症——グリコーゲン

病理学

54. 漿液性炎はどれか。

1. サルコイドーシス
2. 皮下膿瘍
3. 上気道ジフテリア
4. カタル性鼻炎

病理学

55. 労働性肥大を起こしやすいのはどれか。

1. 脳
2. 前立腺
3. 肺
4. 心臓

病理学

56. 悪性腫瘍の原因となるウイルスはどれか。

1. 帯状疱疹ウイルス
2. C型肝炎ウイルス
3. 麻疹ウイルス
4. インフルエンザウイルス

病理学

57. 右前胸腹部の打診において濁音の拡大がみられるのはどれか。

1. 腎腫大
2. 脾腫大
3. 脾腫大
4. 肝腫大

臨床医学総論

58. 姿勢と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 起座位——胆嚢炎
2. 除皮質硬直——橋出血
3. 後弓反張——破傷風
4. エビ姿勢——心不全

臨床医学総論

59. 十二指腸潰瘍の腹痛の特徴はどれか。

1. 食後の心窩部痛
2. 食後の右季肋部痛
3. 空腹時の左季肋部痛
4. 空腹時の心窩部痛

臨床医学総論

60. 出血傾向の原因となるのはどれか。

1. 総蛋白の減少
2. 白血球の減少
3. 血小板の減少
4. 血糖の減少

臨床医学総論

61. 発熱がみられやすいのはどれか。

1. アジソン病
2. 悪性貧血
3. パーキンソン病
4. 全身性エリテマトーデス

臨床医学総論

62. 肘関節について正しい記述はどれか。

1. 前腕の回外は上腕三頭筋が行う。
2. 近位橈尺関節で前腕の回内・回外運動が行われる。
3. 肘関節を伸展させる筋肉は上腕二頭筋である。
4. 肘部管に正中神経が走行する。

臨床医学総論

63. 「30歳の男性。バイク事故で上腕骨骨幹部を骨折した。」最も損傷しやすい神経はどれか。

1. 筋皮神経
2. 正中神経
3. 尺骨神経
4. 橈骨神経

臨床医学総論

64. 膝関節疾患と徒手検査法との組合せで正しいのはどれか。

1. 前十字靭帯損傷——ラックマンテスト
2. 内側側副靭帯損傷——膝内反ストレステスト
3. 半月板損傷——後方引き出しテスト
4. 後十字靭帯損傷——マクマレーテスト

臨床医学総論

65. 安静時の脈拍数で正しい記述はどれか。

1. 成人では80/分以上を頻脈という。
2. 成人では60/分以下を徐脈という。
3. 乳幼児は約40/分である。
4. 鍛錬されたスポーツマンでは100/分以上ある。

臨床医学総論

66. 上肢の病的反射はどれか。

1. チャドック反射
2. トレムナー反射
3. オッペンハイム反射
4. シェーファー反射

臨床医学総論

67. 疾患と検査との組合せで正しいのはどれか。

1. 腰部脊柱管狭窄症——関節鏡検査
2. 骨粗鬆症——骨塩定量検査
3. 手根管症候群——血管造影検査
4. 骨髄炎——筋電図検査

臨床医学総論

68. 体温について正しいのはどれか。

1. 卵胞期より黄体期が高い。
2. 口内温より膝窩温が高い。
3. 午後より午前中が高い。
4. 小児より成人が高い。

臨床医学総論

69. 胃癌について正しい記述はどれか。

1. 非上皮性の悪性腫瘍である。
2. シュニッツラー転移は血行性転移である。
3. 進行胃癌の分類にはデュークス分類が用いられる。
4. 早期胃癌の5年生存率は90～95%である。

臨床医学各論

70. 肝硬変の所見はどれか。

1. 結節性紅斑
2. 漏斗胸
3. 女性化乳房
4. クモ状指

臨床医学各論

71. クローン病の合併症はどれか。

1. 陰部潰瘍
2. 痔瘻
3. 手掌紅斑
4. 口腔内色素沈着

臨床医学各論

72. 「24歳の女性。テニスのサーブ時に、左足関節を内側にひねった。足関節の前外側部の腫脹と疼痛を訴える。」 損傷の可能性が最も高いのはどれか。

1. アキレス腱
 2. 三角靭帯
 3. 前距腓靭帯
 4. 遠位脛腓靭帯
- 臨床医学各論

73. 「24歳の女性。テニスのサーブ時に、左足関節を内側にひねった。足関節の前外側部の腫脹と疼痛を訴える。」 本患者の応急処置として適切でないのはどれか。

1. 冷却
 2. 固定
 3. 挙上
 4. マッサージ
- 臨床医学各論

74. 「45歳の男性。労作時の呼吸困難、咳嗽、喀痰を主訴に来院した。胸部の聴診で呼吸音は減弱し、視診上、口すぼめ呼吸がみられ、呼吸機能検査で1秒率の低下を認めた。」 この症状の原因はどれか。

1. 気胸
 2. 肺気腫
 3. 肺水腫
 4. 間質性肺炎
- 臨床医学各論

75. 「45歳の男性。労作時の呼吸困難、咳嗽、喀痰を主訴に来院した。胸部の聴診で呼吸音は減弱し、視診上、口すぼめ呼吸がみられ、呼吸機能検査で1秒率の低下を認めた。」 本疾患の危険因子の指導で最も適切なものはどれか。

1. 食事指導
 2. 運動指導
 3. 禁煙指導
 4. 禁酒指導
- 臨床医学各論

76. 全身性硬化症の所見で正しいのはどれか。

1. リンパ節腫脹
 2. ソーセージ様手指
 3. 蝶形紅斑
 4. スプーン状爪
- 臨床医学各論

77. 自己免疫疾患はどれか。

1. ラムゼー・ハント症候群
 2. 多発性筋炎
 3. 過敏性腸症候群
 4. クッシング病
- 臨床医学各論

78. 白内障について正しい記述はどれか。

1. 水晶体の混濁がみられる。
 2. 流涙が多い。
 3. 結膜充血がみられる。
 4. 眼圧が亢進する。
- 臨床医学各論

79. 外反母趾について正しい記述はどれか。

1. 男性に多い。
 2. 先の細い靴の着用習慣と関係が深い。
 3. 手術療法の適応はない。
 4. 関節リウマチに合併しない。
- 臨床医学各論



80. 総腓骨神経麻痺について正しい記述はどれか。

1. 足底の感覚障害を生じる。
2. 足関節部の圧迫によって発症する。
3. 足関節の背屈運動が障害される。
4. 足趾の底屈運動が障害される。

臨床医学各論

81. 変形性膝関節症について正しい記述はどれか。

1. 滑膜組織の摩耗を主病変とする。
2. 安静時痛が主症状である。
3. 単純エックス線像で関節裂隙の拡大を認める。
4. 大腿四頭筋訓練が有効である。

臨床医学各論

82. 肺活量が低下するのはどれか。

1. 急性気管支炎
2. 過換気症候群
3. 睡眠時無呼吸症候群
4. 特発性肺線維症

臨床医学各論

83. C型急性肝炎について正しい記述はどれか。

1. 経口感染である。
2. 慢性化はまれである。
3. 劇症化することが多い。
4. 有効なワクチンはない。

臨床医学各論

84. イレウスで腸管壊死をきたしやすいのはどれか。

1. 閉塞性イレウス
2. 絞扼性イレウス
3. 麻痺性イレウス
4. 単純性イレウス

臨床医学各論

85. 脊椎麻酔について正しいのはどれか。

1. 局所麻酔薬を硬膜外に投与する。
2. 穿刺部位に炎症があっても可能である。
3. 虫垂切除術に用いられる。
4. 抗凝固薬使用患者でも安全である。

臨床医学各論

86. 肩関節の腱板損傷が多いのはどれか。

1. 棘上筋
2. 肩甲下筋
3. 棘下筋
4. 小円筋

臨床医学各論

87. 内分泌器官と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 下垂体——シーハン病
2. 甲状腺——アジソン病
3. 副甲状腺——バセドウ病
4. 副腎——クレチン病

臨床医学各論

88. 坐骨神経痛の原因として最も多いのはどれか。

1. L1-L2椎間板ヘルニア
2. L2-L3椎間板ヘルニア
3. L3-L4椎間板ヘルニア
4. L4-L5椎間板ヘルニア

臨床医学各論



89. 緊張型頭痛で正しいのはどれか。

1. 拍動性である。
2. 両側性である。
3. 日常動作で悪化する。
4. 嘔吐を伴う。

臨床医学各論

90. めまいを最もきたしやすい疾患はどれか。

1. 突発性難聴
2. 外耳道炎
3. 副鼻腔炎
4. 耳下腺炎

臨床医学各論

91. 医学的リハビリテーションに該当するのはどれか。

1. 回復期リハビリテーション
2. 就労移行支援
3. 特別支援教育
4. 通所リハビリテーション

リハビリテーション医学

92. 医学的リハビリテーションを担う職種とその内容との組合せで正しいのはどれか。

1. 理学療法士——嚥下訓練
2. 作業療法士——自助具作成
3. 言語聴覚士——利き手交換
4. 義肢装具士——装具処方

リハビリテーション医学

93. 錐体路障害で生じるのはどれか。

1. 固縮
2. 鉛管現象
3. 共同運動
4. 腱反射消失

リハビリテーション医学

94. 検者が母指と示指で輪を作り、それを模倣させる動作ができない時に疑われる高次脳機能障害はどれか。

1. 失行
2. 失語
3. 失認
4. 失見当識

リハビリテーション医学

95. 機能的作業療法として行われるのはどれか。

1. レクリエーション
2. 入浴動作
3. 立位作業
4. 認知訓練

リハビリテーション医学

96. 正常立位姿勢で重心線が通る部位として正しいのはどれか。

1. 第3頸椎
2. 第3胸椎
3. 第7胸椎
4. 第5腰椎

リハビリテーション医学

97. 足の変形と原因となる筋との組合せで正しいのはどれか。

1. 槌指——長指伸筋
2. 外反母趾——長母指伸筋
3. 尖足——短腓骨筋
4. 内反足——後脛骨筋

リハビリテーション医学

98. 脳卒中の障害について正しい記述はどれか。

1. 橋病変は対麻痺を生じやすい。
2. 小脳病変は難治性疼痛を生じやすい。
3. 麻痺性構音障害と嚥下障害は合併しやすい。
4. 失語症は左片麻痺に合併しやすい。

リハビリテーション医学

99. 第6頸髄節レベルの脊髄損傷患者に可能なADLで正しいのはどれか。

1. スプーンを握って食事する。
2. 機能的把持装具の使用で鉛筆を持つ。
3. ベッドから車いすへ側方から乗り移る。
4. 車いすの小車輪を挙げて段差を越える。

リハビリテーション医学

100. 下肢切断患者の幻肢痛について正しい記述はどれか。

1. 断端部の神経痛である。
2. 麻薬の使用は禁忌である。
3. 義足歩行時に著明となる。
4. 早期の義肢装着が有効である。

リハビリテーション医学

101. 気滞の症状はどれか。

1. 声に力がない。
2. 抑うつである。
3. 食欲がない。
4. すぐ疲れる。

東洋医学概論

102. 三焦気化について正しいのはどれか。

1. 臓腑機能の亢進
2. 血液循環の促進
3. 体内の水分量調節
4. 生体の防御作用

東洋医学概論

103. 津液を散布する臓はどれか。

1. 肝
2. 脾
3. 肺
4. 腎

東洋医学概論

104. 五志と五臓との組合せで正しいのはどれか。

1. 怒——肝
2. 喜——肺
3. 憂——心
4. 恐——脾

東洋医学概論

105. 関節の腫れを起こす病邪はどれか。

1. 風邪
2. 寒邪
3. 湿邪
4. 燥邪

東洋医学概論

106. 外因となるのはどれか。

1. 蒸し暑くて一睡もできなかった。
2. 癌の再発におびえていた。
3. 宝くじに当たって歓喜した。
4. 妻子を亡くし生きる意欲を失った。

東洋医学概論

107. 不内外因はどれか。

1. 飲食
2. 暑熱
3. 喜怒
4. 疫癘

東洋医学概論

108. 腎虚の腹証はどれか。

1. 胸脇苦満
2. 心下痞鞭
3. 小腹急結
4. 小腹不仁

東洋医学概論

109. 脈診で脈状をみるのはどれか。

1. 三部九候
2. 祖脈
3. 六部定位脈
4. 人迎脈口

東洋医学概論

110. 手の小指内側端に起こる経脈はどれか。

1. 大腸経
2. 心経
3. 小腸経
4. 三焦経

経絡経穴概論

111. 経脈の流注の順序で小腸経の次はどれか。

1. 肝経
2. 心経
3. 胃経
4. 膀胱経

経絡経穴概論

112. 大腿外側を下る経脈はどれか。

1. 膀胱経
2. 腎経
3. 胆経
4. 肝経

経絡経穴概論

113. 前胸部にある募穴はどれか。

1. 中府
2. 巨闕
3. 京門
4. 石門

経絡経穴概論

114. 前脛骨筋上にある経穴はどれか。

1. 足三里
2. 地機
3. 光明
4. 蠡溝

経絡経穴概論

1 1 5. 円回内筋上にある経穴はどれか。

1. 曲池
2. 孔最
3. 手三里
4. 偏歷

経絡経穴概論

1 1 6. 手掌にある経穴はどれか。

1. 郄門
2. 内関
3. 大陵
4. 劳宮

経絡経穴概論

1 1 7. 肩峰角の下方3寸、三角筋の後下縁にある経穴はどれか。

1. 天膠
2. 臂臑
3. 肩貞
4. 臑会

経絡経穴概論

1 1 8. 経穴と動脈拍動部との組合せで正しいのはどれか。

1. 大迎——総頸動脈
2. 太溪——後脛骨動脈
3. 太衝——膝窩動脈
4. 衝陽——前脛骨動脈

経絡経穴概論

1 1 9. 頭痛の部位と治療対象になる経脈との組合せで正しいのはどれか。

1. 頭頂部痛——少陰経
2. 前頭部痛——闕陰経
3. 後頭部痛——陽明経
4. 側頭部痛——少陽経

東洋医学臨床論

1 2 0. 次の文で示す患者の病証に対する治療穴で最も適切なのはどれか。「37歳の男性。主訴は目の疲れ。時々目がかすみ、夜間にこむら返りも起こる。」

1. 太淵
2. 太白
3. 太溪
4. 太衝

東洋医学臨床論

1 2 1. 下の歯が痛む場合、経脈流注を考慮して指圧施術する治療穴はどれか。

1. 通里
2. 温溜
3. 公孫
4. 飛揚

東洋医学臨床論

1 2 2. 次の文で示す患者の病証に対する治療方針として、回復を図るべき正気の作用はどれか。「25歳の女性。冷え性体質ですぐに下痢をする。便は水様性で臭いは無い。顔色は白く手足は冷たい。」

1. 推动作用
2. 気化作用
3. 防御作用
4. 温煦作用

東洋医学臨床論

1 2 3. 房事過多が原因となる陽痿の患者に対して補うべき最も適切なのはどれか。

1. 肝血
2. 陽気
3. 腎精
4. 津液

東洋医学臨床論

1 2 4. 次の文で示す患者の病証に対する治療方針として最も適切なのはどれか。「31歳の女性。日頃のストレスから月経が乱れる。イライラ感が強く、乳房や下腹部に脹りを感じる。脈は弦。」

1. 脾陽の回復
2. 肝鬱の改善
3. 瘀血の除去
4. 津液の補充

東洋医学臨床論

1 2 5. 末梢性顔面神経麻痺の施術で対象とならない筋はどれか。

1. 前頭筋
2. 眼輪筋
3. 側頭筋
4. 広頸筋

東洋医学臨床論

1 2 6. 僧帽筋中部線維のこりに対する局所施術部位として最も適切なのはどれか。

1. 後頸部
2. 肩甲間部
3. 肩甲骨外側部
4. 肩甲骨下角部

東洋医学臨床論

1 2 7. モーリーテストが陽性となる疾患に対し局所施術を行う場合、対象となる筋はどれか。

1. 斜角筋
2. 小胸筋
3. 上腕二頭筋
4. 僧帽筋

東洋医学臨床論

1 2 8. 次の文で示す患者の罹患局所に対する施術部位として最も適切なのはどれか。「28歳の男性。半年前から左殿部から下腿後面にかけての放散痛がある。間欠跛行はみられず、エックス線検査では腰椎の異常所見は認めない。K・ボンネットテスト陽性、ケンプ徴候陰性。」

1. 脊柱起立筋部
2. 中殿筋部
3. 梨状筋部
4. 下腿三頭筋部

東洋医学臨床論

1 2 9. 弛緩性便秘の生活指導として適切でないのはどれか。

1. 水分摂取の制限
2. 腹筋運動の勧め
3. 食物繊維の摂取
4. 腹部のセルフマッサージ

東洋医学臨床論

1 3 0. 小児夜尿症に対する仙骨部への施術で用いない手技はどれか。

1. 指蹠軽擦法
2. ろとう揉捏法
3. 手掌圧迫法
4. 指頭叩打法

東洋医学臨床論



131. 腸脛靭帯炎に対する施術が必要となる理学検査所見はどれか。

1. グラスピングテスト陽性
2. ラックマンテスト陽性
3. 膝蓋骨圧迫テスト陽性
4. マクマレーテスト陽性

東洋医学臨床論

132. 理学検査所見と罹患部位に対する局所施術との組合せで最も適切なのはどれか。

1. SLRテスト陽性———大腿前面
2. パトリックテスト陽性———膝内側
3. 膝内反ストレステスト陽性———膝外側
4. ニュートンテスト陽性———下腿前面

東洋医学臨床論

133. 足関節の伸展(背屈)と内がえしが困難となる場合、施術対象となる罹患筋はどれか。

1. 前脛骨筋
2. 短指伸筋
3. 腓腹筋
4. 長腓骨筋

東洋医学臨床論

134. 疾患と治療体操との組合せで正しいのはどれか。

1. 外反母趾———フレンケル体操
2. 脳性麻痺———ウイリアムズ体操
3. 肩関節周囲炎———コッドマン体操
4. 腰痛———バージャー体操

東洋医学臨床論

135. 「63歳の男性。4か月前から頸肩部痛を自覚し、最近では上を向くと前腕後内側から小指にかけて放散痛が出現するようになった。エックス線検査で頸椎変形が指摘されている。」椎間孔圧迫症状を確認するために行う理学検査で正しいのはどれか。

1. ジャクソンテスト
2. モーリーテスト
3. スピードテスト
4. ファレンテスト

東洋医学臨床論

136. 「63歳の男性。4か月前から頸肩部痛を自覚し、最近では上を向くと前腕後内側から小指にかけて放散痛が出現するようになった。エックス線検査で頸椎変形が指摘されている。」症状のある部位の流注を踏まえて施術する場合、最も適切な経脈はどれか。

1. 肺経
2. 心包経
3. 大腸経
4. 小腸経

東洋医学臨床論

137. 「16歳の女性。主訴は月経痛。初経後2年で発症した。痛みは月経開始日に最も強く、翌日には軽快する。痛みの性質はけいれん様で、排便痛などは伴わない。超音波検査異常なし。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 子宮内膜症
2. 子宮腺筋症
3. 月経前症候群
4. 原発性月経困難症

東洋医学臨床論



138. 「16歳の女性。主訴は月経痛。初経後2年で発症した。痛みは月経開始日に最も強く、翌日には軽快する。痛みの性質はけいれん様で、排便痛などは伴わない。超音波検査異常なし。」この患者の月経痛の指圧治療を体性-内臓反射理論に基づいて行うとすれば、最も適切なデルマトームはどれか。

1. Th5～Th7
2. Th11～L1
3. L3～L5
4. S2～S4

東洋医学臨床論

139. 「60歳の男性。200m程の歩行で左大腿後側から下腿外側にかけて痛む。ケンプ徴候陽性。第5趾に触覚の鈍麻がみられる。」痛みを評価する方法として最も適切なのはどれか。

1. ROM
2. CMI
3. MMT
4. VAS

東洋医学臨床論

140. 「60歳の男性。200m程の歩行で左大腿後側から下腿外側にかけて痛む。ケンプ徴候陽性。第5趾に触覚の鈍麻がみられる。」症状のある部位の流注を踏まえて施術する場合、最も適切な経脈はどれか。

1. 胃経
2. 膀胱経
3. 脾経
4. 腎経

東洋医学臨床論

141. 片手で行う古法按摩術はどれか。

1. 袋打の術
2. 鳴骨の術
3. 耳鐘の術
4. 頭の曲

按摩・マッサージ・指圧理論

142. 関節拘縮の改善を目的で行うのはどれか。

1. 自動介助運動
2. 漸増抵抗運動
3. 抵抗運動
4. 他動運動

按摩・マッサージ・指圧理論

143. 指圧の基本圧法で次の文で示すのはどれか。「5～7秒かけて徐々に力を加え、徐々に力を抜く。」

1. 衝圧法
2. 通常圧法
3. 持続圧法
4. 緩圧法

按摩・マッサージ・指圧理論

144. カイロプラクティックが治療対象とするのはどれか。

1. 皮膚
2. 筋肉
3. 脊椎
4. リンパ

按摩・マッサージ・指圧理論

145. 最も強く刺激できる手技はどれか。

1. 手掌軽擦法
2. 二指揉捏法
3. 肘頭圧迫法
4. 指頭振せん法

按摩・マッサージ・指圧理論

146. 高齢者に対する施術で骨折のリスクが高いのはどれか。

1. 腹臥位における背部の母指圧迫
2. 側臥位における頸部の四指揉捏
3. 背臥位における腹部の輪状軽擦
4. 座位における肩上部の把握揉捏

按摩・マッサージ・指圧理論

147. 軽擦刺激の求心路に関係するのはどれか。

1. メルケル盤
2. Ⅲ群線維
3. 脊髄網様体路
4. 海馬

按摩・マッサージ・指圧理論

148. 内臓—運動反射が関与するのはどれか。

1. アシュネル反射
2. 頸動脈洞反射
3. ヘッド帯
4. 筋性防御

按摩・マッサージ・指圧理論

149. マッサージの基本手技の生体に及ぼす作用で正しいのはどれか。

1. 揉捏法により筋内の血行が増加する。
2. 軽擦法により皮脂腺の働きが抑制される。
3. 圧迫法により靭帯の癒着がはがれる。
4. 強擦法により消化管運動が亢進する。

按摩・マッサージ・指圧理論

150. 圧自律神経反射において圧迫側でみられるのはどれか。

1. 鼻粘膜の毛細血管の収縮
2. 血圧の上昇
3. 発汗の減少
4. 皮膚温の上昇

按摩・マッサージ・指圧理論

解答

医療概論

1	2
2	3

衛生学

3	4
4	4
5	2
6	3
7	3
8	3
9	2
10	1
11	3

関係法規

12	1
13	1
14	4
15	3

解剖学

16	4
17	4
18	4
19	2
20	2
21	2
22	4
23	1
24	3
25	2
26	3
27	3
28	1
29	3
30	1
31	2
32	1
33	1

生理学

34	4
35	2
36	1
37	1
38	4
39	4

40	2
41	1
42	3
43	4
44	2
45	2
46	3
47	3
48	2
49	4

病理学

50	1
51	2
52	3
53	1
54	4
55	4
56	2

臨床医学総論

57	4
58	3
59	4
60	3
61	4
62	2
63	4
64	1
65	2
66	2
67	2
68	1

臨床医学各論

69	4
70	3
71	2
72	3
73	4
74	2
75	3
76	2
77	2
78	1
79	2
80	3

81	4
82	4
83	4
84	2
85	3
86	1
87	1
88	4
89	2
90	1

リハビリテーション医学

91	1
92	2
93	3
94	1
95	3
96	4
97	4
98	3
99	2
100	4

東洋医学概論

101	2
102	3
103	3
104	1
105	3
106	1
107	1
108	4
109	2

経絡経穴概論

110	3
111	4
112	3
113	1
114	1
115	2
116	4
117	4
118	2

東洋医学臨床論

119	4
120	4

121	2
122	4
123	3
124	2
125	3
126	2
127	1
128	3
129	1
130	2
131	1
132	3
133	1
134	3
135	1
136	4
137	4
138	2
139	4
140	2

按摩・マッサージ・指圧理論

141	2
142	4
143	2
144	3
145	3
146	1
147	1
148	4
149	1
150	3